



しょうぼうじ 聖宝寺の紅葉 (いなべ市) 藤原岳の山麓に最澄が開いたと伝わる由緒正しい古刹。平安時代に造られたとされ、一度焼失したが江戸中期に再建された庭園には、境内から裏山にかけてもみじが広がっている。シーズン中にはライトアップもあり、紅葉と寺が夜の間に浮かぶ姿は幻想的です。

(写真：三重県観光連盟 提供)

目次・主な内容

■ 理事・役員会	2	■ リレー随想 ●「でじたる」なオヤジ?	13
■ 第9回三重経協海外経済・労働事情視察	4	■ 三重労働局	14
■ トップインタビュー	6	■ Window事務局	17
■ 協会事業活動報告	8	■ 業務日誌	18

理事・役員会開催される



開会のあいさつをする奥田会長

去る、10月22日(水)、プラザ洞津にて理事・役員会を開催(参加者28名)しました。

開会に続き奥田会長から、次のあいさつがありました。ご承知のように米国発のサブプライム問題により、大手金融機関の破綻、株価の下落など、世界規模での金融市場の混乱を招き、収束の気配がみられず、現状では株価も500円の幅で下がって1ユーロ、160円台を想定していた輸出企業(自動車、機械、情報機器)関連も営業利益が大幅にダウンしており日本経済に深刻な打撃を与えて参りました。

米国において9月3日に公的資金(75兆円)を投入して不良債権を買い上げる金融安定化法が成立し、ひとまず最悪の事態は免れましたが、何故、初期の段階で資金を入れなかったのかが、米国の失策とも言われています。

このような混迷の時代にありましても、わが国では生産性の向上によって国際競争力を高めていく必要性については労使間で共通の認識が確立されており、幾度となく困難を乗り越って参りました。

当協会におきましても、より一層のスピードと柔軟性が求められており、労使が自社の経営課題や目標を共有し企業体としての危機感をもって迅速に対応しうる経営体質の向上に努めるとともに経営の要であります人、雇用、労使関係を通じて会員企業の一層の発展に尽くして参る所存ですので、今後ともみなさま方の心強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本日はこの後、注目をされています「新型インフルエンザ対策について」尾辻典子医師より、ご講演をいただくことになっておりますので、会社にとりましても大変ご参考になるものと思っておりますのでよろしく申し上げます。

I. 協議事項

1. 平成20年度事業進捗状況

- (1) 協会内部活動とサービス機能強化
 - ・ IT活用による協会PRの推進
 - ・ 「就職情報ウェブライン」の促進
 - ・ 第9回海外経済・労働事情視察(ドバイ・トルコ)

(2) 研修・教育セミナーの充実

- ・ 労務管理改善協力委員会活動
- ・ 人事労務担当者育成セミナー

(3) 地域の雇用・人材活性化の貢献

- ・ インターンシップ事業(年間目標達成率133%)
- ・ 地域団塊世代支援事業(今年度より新規受入事業)

(4) 各団体との連携強化

- ・ 第40回三重労使会議開催
- ・ 三重県地区労使懇談会(中勢・北勢地区)開催

2. 平成20年度事業予算執行状況

- (4~9月の収支については予算通り進捗)

3. 人事の件

- (1) 副会長会社の東邦ガス(株)が東邦液化ガス(株)三重支店に変更し黒川副会長継続
- (2) 事務局の理事・業務部長大田氏が9月3日にて定年退職、来年3月まで嘱託として継続
- (3) 委託職員の中村宏行氏を本年6月より正規職員とする

以上につきましては、満場一致で承認されました。

II. 活動報告

- 1. 第17期労務管理改善協力委員会
- 2. インターンシップ受入企業開拓事業
- 3. 第40回三重労使会議
- 4. みえ雇用創出会議
- 5. 三重県地域労使就職支援機構

以上の詳細な内容につきましては経協事業活動報告(8P)に記載しておりますので、ご参照下さい。



理事・役員会風景

新型インフルエンザ対策について

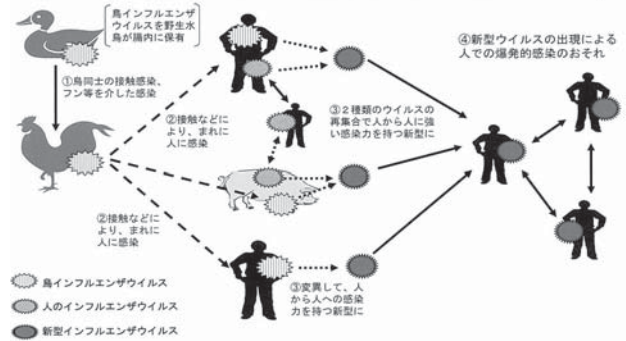
講師:三重産業保健推進センター基幹相談員(医師) 尾辻典子氏



スライドの説明をする尾辻先生

インフルエンザはインフルエンザウイルスに感染することによっておこる病気です。これまで人に感染しなかったインフルエンザウイルスがその性質を変え(変異)し、ヒトへと感染するようになり、そしてまたヒトからヒトへと感染するようになるというゆる新型インフルエンザが出現することになります。平成15年(2003年)12月以降、タイ、ベトナム、インドネシアなどの東南アジアにおいて、通常ヒトには感染することがない鳥インフルエンザに125人が感染し、これまでに64人の死者が出ています(2005年11月10日現在)。これまでのところヒトからヒトへの感染は確認されていませんが、ヒトからヒトへ感染するウイルス(新型インフルエンザウイルス)へと変異し世界的な流行(パンデミック)の可能性が出てきています。そのためWHO(世界保健機関)では平成11年(1999年)インフルエンザパンデミック準備計画を発行し本年5月には世界インフルエンザ事前対策計画が改定されWHO及び各国の対応が示されました。厚生労働省では新型インフルエンザの発生および、蔓延防止のために平成16年(2004年)8月に基本的な方針として報告書を取りまとめ平成17年(2005年)4月「感染症の予防の総合的な推進を図るための基本的な方針」および「インフルエンザに関する特定感染症予防指針」を改正し、同年10月には新型インフルエンザ対策推進本部を設置し、その対策のための行動計画を策定し国民の皆様が新型インフルエンザについて正確に理解しその予防など冷静に対応できるように今後とも新型インフルエンザに関して正確かつ迅速な情報提供に努めることになっておりますので、誤った情報に耳を傾けないよう注意していただきたいと思っています。(文責事務局)

鳥インフルエンザと新型インフルエンザの関係



事業所・職場における新型インフルエンザ対策

パンデミックフェーズ	各フェーズにおける目標	(状況別の)追加小項目
フェーズ1	世界、国家、都道府県、市区町村のそれぞれのレベルで、パンデミック対策を強化する	
フェーズ2	ヒトの感染拡大のリスクを減少させ、偶発感染が起きたとしたら、迅速な検知、報告が行われる体制を整備する	
フェーズ3	新型ウイルスを迅速に検査診断し、報告し、次の患者発生に備える	感染が見られている地域であるか、そのような地域との人的交流、異動があるか否か、全く影響がないかに基づき、対策の細部を適宜改良する
フェーズ4	隔離をはじめとした物理的な封じ込め対策を積極的に導入し、ワクチンの開発と接種などの事前計画、準備した感染症対策の実施に必要な時間的猶予を確保するために、最大限努める	
フェーズ5		
フェーズ6	パンデミックの影響を最小限にとどめるためのあらゆる対策をとる	上記以外に、パンデミックの小規模状態と第2波への対策
後パンデミック期	パンデミックによる多方面への影響を評価し、計画的復興と対策の改善を実施する	

新型インフルエンザによる職場の被害予測

被害の種類	フェーズ	被害内容
人的被害	フェーズ4/5	一部人員減 ・共働き所帯の自宅待機 ・濃厚接触者の自宅待機
	フェーズ6	最大40%欠勤(2ヶ月) ・従業員と家族の罹患
物的被害		・サプライチェーン(取引業者)の機能低下 ・消費者の需要が変化

- ・世界銀行の予測: 少なくとも1兆5000億ドルの被害額
- ・日本国内の予測: GDP損失20~30兆円

新型インフルエンザ対策ガイドライン(2007年3月)

対策の分野	具体的な対策
流入阻止	検疫対応
封じ込め	患者の早期発見、接触者対策 早期対応戦略(タミフル予防内服)
拡大防止	ワクチン接種(優先順位) 抗インフルエンザ薬の投与
医療対応	医療機関(発熱外来) 検査、院内感染対策
社会対応	職場での対応、家族や地域での対応 リスクコミュニケーション

ドバイ・イスタンブール経済労働事情視察 2008年10月5日(日)～10日(金)

第9回三重経協海外経済・労働事情視察団（団長：奥田卓廣三重経協会長）一行21名は、10月5日から10日までの6日間、オイルマネーの国のイメージがありながら、実際は石油がアブダビ首長国のみにて産出され、石油依存経済から脱却をめざして、外資・技術の導入など産業の多様化が積極的に進められているドバイ首長国と、7月にはテロ事件の勃発、また出発前日の10月4日にはクルド労働者党との戦闘等、国内治安の不安定要素はあるものの、マクロ経済は好調を維持し、近年EU加盟を目指している親日国のトルコ共和国の2ヶ国2都市（ドバイ、イスタンブール）を訪問しました。



ドバイバージニアルアラブホテル前の海岸で

日程は、2ヶ国2都市を5泊6日（機中2泊）で視察するというハード・スケジュールでありました。ジェットドバイ事務所の兒玉高太郎氏、三菱東京UFJ銀行イスタンブール駐在事務所の藤本隆氏の両名より、それぞれの国における経済・労働事情について現地で生の情勢を直接うかがうことができ大変参考になり、また見識を深めることができました。



ジェットドバイ事務所兒玉所長の講演風景

早朝5時の到着にもかかわらず、ドバイ空港は世界各地からの旅行客で大変なにぎわいでした。

脱石油を目的に、外国企業を積極的に誘致し、国際都市として7つの首長国（UAE）の中で飛び抜けた発展を遂げたドバイは、話題のとおり超高層ビルが立ち並び世界の金融、流通、観光の一大拠点となったエネルギーに満ち溢れた街でありました。

世界の建設用クレーンの3分の1がドバイに集まっているといわれる程の建設ラッシュで、道路もビル

【行程・スケジュール】

日付	発着地／滞在地	交通機関	スケジュール
10月5日(日)	中部国際空港 中部国際空港	EK-315便	中部国際空港出発ロビー集合(20:40) エミレーツ航空にてドバイ空港へ
10月6日(月)	ドバイ		ドバイ到着後、ホテルにて朝食 〈ドバイ市内視察〉 クリークサイド、ドバイ博物館、砂漠をドライブなど
10月7日(火)	ドバイ イスタンブール	EK-121便	午前 ドバイジェットロ事務所にて『経済講演会』 午後 ドバイからイスタンブールへ
10月8日(水)	イスタンブール		〈イスタンブール市内視察〉 ドルマパフチェウ宮殿、ボスポラス海峡クルーズとグランドバザール トプカプ宮殿、ブルーモスク、ヒッポロドーム
10月9日(木)	イスタンブール	EK-122便	午前 三菱東京UFJ銀行 イスタンブール駐在員事務所にて『経済講演会』 午後 イスタンブール市内視察 アヤソフィア イスタンブールよりエミレーツ航空にてドバイへ
10月10日(金)	ドバイ 中部国際空港	EK-314便	深夜、中東・ドバイからエミレーツ航空にて一路名古屋へ セントレア到着後解散

もいたるところで重機の音がして、クレーンもほとんど見かけなくなった日本の建設状況とあまりにも違いがあって、経済成長の勢いの差が表われていました。



三菱東京UFJ銀行イスタンブール駐在所藤本所長の講演風景

街中は緑化も進んでいるので、砂漠の国のイメージとは程遠く、また市内を走る車は日本車のシェアが圧倒的で進出日本企業も325社、在留邦人も中東アフリカ地域で最大の2,900人、日本食レストラン、日本人学校もあり、目覚ましい勢いで発展し続けるドバイは、ビジネスに観光に大いに期待できる国であります。しかし、更なる拡大と多様化が望まれる我が国との経済関係については、最近の日本製品の輸入シェアは低下しており、アジア諸国の台頭が気になるとのジェトロ児玉氏の話が印象的でありました。

アジアとヨーロッパにまたがって東西文明の接点になっているトルコ最大の都市イスタンブールは、様々な人種、様々な文化が混じり合い、歴史的遺産である宮殿、モスク、バザール等、そして美しい自然に恵まれた多彩な街でありました。

特にビザンチン帝国時代のアヤソフィア大聖堂、オスマントルコ帝国時代のブルーモスク、トプカプ宮殿、そしてローマ時代の城壁など当時の宗教、権力そして人間の英知、技術が感じられとても感銘しました。

トルコは我が国と伝統的に友好かつ緊密な二カ国間関係にあり、従来から積極的に経済協力が行われてきました。日本から大手の自動車産業などがヨーロッパ向けの生産基地としてトルコで生産活動を続けている他、50社程度が現地に進出しているとのこと。ヨーロッパとアジア大陸の間のボスポ

ラス海峡を結ぶ二つの長大橋は、かつて日本の大手建設会社が架けたもので、現在は、この海峡の海底トンネル工事を日本企業が行うなど、大型のインフラ整備においてトルコは日本の協力を期待を寄せています。また、日本からの観光客は、2005年に10万人の大台を突破して、2007年には16万人と急激に増加し、これからも増加し続けると三菱東京UFJ銀行イスタンブール駐在員の藤本氏の話でありました。

トルコには現在1,300名以上の在留邦人がいて、今後も文化、経済交流、人的交流の増加が見込まれていますが、最近では日本通の政治経済関係の要人が少なくなり、また日本への関心が低くなりつつあり、知名度の低下が懸念されるところで今後、効果の高いPR活動の推進が必要であると思われます。



イスタンブール世界遺産「ブルーモスク」前

参加者名簿（敬称略）

団 長	奥田 卓廣	三重交通(株) 取締役会長 三重県経営者協会 会長
副団長	久保 幸夫	神鋼電機(株)伊勢製作所 製作所長代理兼総務部長 三重県経営者協会 副会長
団 員	足坂 三長	(有)エム・アール・シー 代表取締役
〃	伊藤 幸一	東邦液化ガス(株)三重支店 保安部長
〃	岩崎 誠二	(株)三交クリエイティブ・ライフ 取締役社長
〃	川瀬 五博	日本トランスシティ(株) 人事部長補佐
〃	木村 善治	三交不動産(株) 取締役副社長
〃	千田喜久治	日本労働組合総連合会三重県連合会 会長
〃	竹内 秀樹	クラギ(株) 代表取締役
〃	竹林 武一	三重トヨタ自動車(株) 代表取締役会長
〃	種戸 茂一	三重いすゞ自動車(株) 取締役社長
〃	中野 達郎	三重交通(株) 専務取締役
〃	林 隆春	(株)アバンセコーポレーション 代表取締役会長
〃	藤井 俊彰	鳥羽シーサイドホテル(株) 取締役社長
〃	松本 亮	三重ハイウェイサービス(株) 総務部次長
〃	南 正就	三重交通商事(株) 代表取締役社長
〃	宮田 準	(株)三交タクシー 取締役社長
〃	吉田 洋	名鉄四日市タクシー(株) 相談役
〃	渡邊 興一	(元)内外製粉(株) (代表取締役)
幹 事	横田 正典	三重県経営者協会 専務理事
副幹事	西場 康弘	〃 会員サービス部長
添乗員	青 成幸	三交旅行(株)津営業所



会員企業各社、トップの素顔に迫る「トップインタビュー」。第13回目は経協理事会社であります、(株)一号館 代表取締役社長 佐藤 純さんにお話を伺うことができました。

～一号館は「お客様支持率 地域No.1」を目指します～

株式会社一号館 代表取締役社長 佐藤 純 さん

～県下初のスーパーマーケットとして誕生した一号館をスタートに、ミスタートンカチ、F1マート、生鮮百円館と次々と時代の流れを捉えて、新業態にチャレンジされてきた御社ですが、その過程では幾多の荒波を乗り越えてきたかと思えます。そのチャレンジ精神についてお聞かせください～

当社は、私の先代の父(悦蔵)により、1958年(昭和33年)に「株式会社主婦の店」として四日市で、スタートいたしました。ご承知の方もおられると思いますが、父は桑名で味噌・たまり醸造を営む「サンジルシ」の出身です。江戸時代から伝統的な商売を続けてきた実家とは別に、何か新しいものにチャレンジしたいという思いから、当時としては大変珍しいセルフ式のスーパーマーケットにチャレンジしました。オープン初日、各関係者の注目を集める中、4,000人からの来店客数を記録し、順調なスタートを切りました。しかし父の頭の中では、既に1号店開店のときから県下初の店舗展開(チェーンストア)を見据えた構想がありました。その後2号店、3号店と徐々に足場固めを行ってまいりましたが、1964年(昭和39年)に主力店でもあった四日市本店が、全焼火災に遭遇するという会社存続の危機に立たされました。この出来事が当社の大きな転機になり、全社員が一致結束を図り「簡単・正確・迅速」をスローガンに、経営の効率化を促進し、社名も「株式会社一号館」に改め、新たなスタートを切りました。

その後、当社に脈々と流れている「チャレンジ精神」や「他がやってないことで差別化を図る」というコンセプトを掲げ、革新的なことにトライしてきました。1968年(昭和43年)に、今では当たり前のようにになっている「深夜営業」を全国に先駆けて導入し、1972年(昭和47年)には、業界でもいち早く物流センターを設置し、各店舗への商品の発送を1ヶ所で集中的に行う「セントラル・パッケージ」システムに取り組みました。

また、新たな店舗展開として、1973年(昭和48年)にスーパーマーケットとしては、当時異例のコンビネーションストア(食品と生活雑貨を組み合わせた売り場)の店舗をオープン。1981年(昭和56年)には、県下で他社に先駆けてオープンしたホームセンター「ミスタートンカチ」は、花苗・園芸用品をお値打ちに購入することができるホームセンターと評判を呼び、他社との差別化に成功しました。1988年(昭和63年)には、100店舗構想の一環として、作業の効率・集中化を目指した体制整備の実現のために、敷地面積2万㎡の現在の場所に、本社機能と食品の加工・物流機能を備えた物流センターを新設いたしました。当時としては、大掛かりな投資で不安もありましたが、今では経営判断として良かったと思っています。バックヤードが整ったところで、新たな時代の対応として、1993年(平成5年)に他社には真似のできない形態として、同一敷地内で同一経営者によるスーパーマーケットとホームセンターをオープンさせ、翌年には、米国のウォルマートから得た戦略の中から、他社が太刀打ちできないディスカウント価格で販売する「F1マート」をオープンしました。さらに、100円で生鮮食料品が買えるお店としてマスコミにも取り上げられ、話題を呼んだ「生鮮百円館」のオープンも、新しい業態へのチャレンジでした。

他社に先駆けてさまざまなチャレンジを繰り返して行く根底には、「お客さまのために何が出来るのか」ということがあり、これからも積極的に推進して行くつもりであります。



一号館本社

～御社のホームページから、「一号館という社名には、「お客様支持率地域No.1」を目指すという企業目標が込められている。」のを拝見したのですが、このことについてお聞きかせください～

お客様に支持され続けることの1つに、「品質の良いもの(健康・安全・安心)をお値打ちに売る」ということがあります。社会保障関係の負担増や物価上昇傾向にある現在、価格を単に下げただけで「安かろう、悪かろう」では、絶対に駄目で、一号館は気軽にお値打ちな買い物ができる便利なお店。「近くに一号館があってよかったね」と言われるようにならないといけません。そのためにも生産性の向上、システムの改善、工夫など、パートやアルバイトなどの隔てなく、全社員が丸一となって日々取り組んでおります。

～人材育成にも積極的に取り組んでいるということですが、御社独自の社員教育などお聞きかせください～

「現場を大事にする」とともに、将来のキャリアデザインが描けるようサポートすることを基本にしております。内定後研修から新入社員研修、さらに配属先でのOJT、1年後の基礎研修を実施しています。特に1年目の基礎研修については、月に1度本社においてさまざまな分野にわたり、中堅の社員が講師を担当し、双方のレベルアップも兼ねて1年間の教育を実施しています。また、全国スーパーマーケット協会の主催する認定試験にも多くの社員の方々にチャレンジしていただいています。

私は、「一号館で働いている社員の皆様が、一号館で働くことに誇りを持てるような会社になりたい」、このことが私に課せられた大切な使命と思っています。

～最後に、多忙な毎日で休みもなかなか取れにくいと思いますが、休日の過ごし方、趣味などをお聞きかせください～

揖斐川の近くで育ったこともあり、「魚釣り」が最高の楽しみです。釣り糸を垂れている至福の一時は何事にも変えられない貴重な時間ですね。以前、近郊の山に溪流釣りに行った際、初めて山女や岩魚を釣り上げたのも感動でしたが、自然の中で釣り上げた魚を仲間と美味しくいただいたという体験は、強く印象に残っています。残念ながら、最近では時間的な余裕もなくご無沙汰しておりますが、機会があれば楽しみたいです。

～一号館の未来についてお聞きかせください～

将来的なビジョンとして、今は北勢、中勢地域を基盤に店舗展開をしていますが、県下全域に着実に広めていって、県民の皆様に「三重県に一号館があってよかったね」といわれる企業にしたいと思っています。また、薬事法の改正に伴い、直営の薬局を併設している店舗に、食品と健康のアドバイスができる社員を育成して、生活習慣病に対応する商材とメニュー等の提案ができるヘルスケアのカウンターの新設を考えています。

少しでもお客様の喜んでいただける提案の実現ができないかと思っています。



◆佐藤社長経歴

昭和24年6月28日生

学歴

- 昭和47年3月 甲南大学法学部卒業

職歴

- 昭和47年4月 株式会社一号館入社
- 昭和50年5月 同社 取締役
- 昭和52年5月 同社 常務取締役
- 昭和54年5月 同社 取締役副社長
- 平成元年5月 同社 代表取締役副社長
- 平成5年6月 同社 代表取締役社長就任

第17期「第1回労務管理改善協力委員会定例総会」

～役員改選と新部会の編成および正副部会長の選出・交流懇親パーティー～

8月4日(月)プラザ洞津「末広の間」において、第17期「第1回労務管理改善協力委員会定例総会」を開催いたしました。



労管定例総会風景

最初に、第16期の活動全体報告、旧2部会の活動報告が行なわれ承認されました。

続いて、第17期の発足に伴う新役員の選出と新部会所属の決定が、原案通り可決承認されました。その後、各部会に分かれ、部員の自己紹介、正副部会長の選出、並びに今後2年間の部会活動についての取り組みが協議されました。再び定例会議に戻り、各部会の報告がなされ、最後に柳生新会長から就任挨拶をいただき総会を終了いたしました。

総会終了後、交流懇親パーティー会場に移動し、終始和やかな雰囲気の中、会員間の名刺交換、互いの人事・労務状況などの情報交換が各所で行なわれ、盛況の内に閉会いたしました。

当日は、53名の参加をいただきました。

第17期労務管理改善協力委員会

1. 総合テーマ

『グローバル化の更なる進展と少子・高齢化社会に対応する人事労務管理』

～雇用の多様化に伴う人材戦力の構築～

2. 第17期新役員

会 長(新) 柳 生 邦 雄
(株)エムネット四日市研修センター
メディカルセーフティコーチ)

副 会 長(新) 坂 井 義 行
(三交不動産(株) 総務部長)

・ 北勢地区支部長(再) 長 田 泰 宏
(株)小林機械製作所 専務取締役)

・ 中勢地区支部長(再) 小 林 篤 郎
(三重交通商事(株) 専務取締役)

・ 南勢地区支部長(再) 阿 竹 孝 二
(株)ぎゅーとら 取締役管理部長)

・ 伊賀地区支部長(新) 山 本 正 仁
(株)安永 人事部人事グループ長)



新役員と柳生新会長の挨拶

3. 構成内容

■第1部会

主なテーマ：人事・賃金管理、労使関係等

構成メンバー：51名

常任幹事：部 会 長 向 井 悦 也

(美和ロック(株)玉城工場 総務部長)

副部会長 中 川 祥 登

(株)中部近鉄百貨店 総務部長)

副部会長 大 森 貴 司 夫

(横浜ゴム(株)三重工場 業務課長)

■第2部会

主なテーマ：安全衛生とセクハラ、パワハラ、
人材育成・能力開発等

構成メンバー：43名

常任幹事：部 会 長 井 上 穂 石

(鳥羽シーサイドホテル(株) 管理部次長)

副部会長 川 嶋 範 雄

(上野キヤノンマテリアル(株) 総務課長)

副部会長 青 波 宏 一

(本田技研工業(株)鈴鹿製作所
総務ブロックリーダー)

■共通部会

今期より、新たに共通部会を設置し、人事・労務担当者の抱えております「人材確保・採用問題」、「雇用問題」等について合同開催とし、学校就職関係者

(大学・高校)との就職及び人材確保等について、情報交換会を開催していく予定です。

*各部会とも十分な情報交換・ディスカッションができるように、テーマに沿った『専門家』、『大学教授』を招待し、部会にも加わっていただく予定です。

*第17期労務管理改善協力委員会は、57社、94名

第17期労管定例会議・部会スケジュール及び内容

部会開催月及び内容につきましては、あくまで予定ですので、今後、部会を進めていく中で、部会員のご意見ご意向により変更になる場合がございますのでご了承下さい。

日程	平成20年8月	平成20年10月	平成20年12月	平成21年1月	平成21年2月	平成21年3月	平成21年4月
定例会議及び実務セミナー	第17期発足例会		共通部会・定例会議合同開催 「県外視察会(東海地区)」		■実務セミナー 「春闘セミナー」 ■定例会議 13:30~16:00 春闘セミナー 16:00~16:30 定例会議 会 員 無 料 会 員 外 10,000円		
共通部会							
第1部会	第17期発足例会			①工場見学 ②講演(案)「これからの賃金制度について」(大学教授または専門家) ③「各社の賃金制度について」の紹介と情報交換 ④その他			①工場見学 ②講演(案) 「人事諸制度の課題とワークライフバランスの充実と実現」(専門家) ③「各社の人事諸制度及びワークライフバランスに対する取り組みについて」の紹介と情報交換会(専門家を交えて) ④その他
第2部会	第17期発足例会	①工場見学 ②三重県産業保険センターより講演 「安全衛生と健康管理等について」 ③「各社の安全衛生と健康管理、メンタルヘルスについて」紹介及び情報交換会 ④その他				①「各社のセクハラ、パワハラ対策について」紹介及び情報交換会 ②「セクハラ・パワハラ」に関するビデオ上映 ③その他	

日程	平成21年5月	平成21年8月	平成21年9月	平成21年11月	平成22年2月	平成22年6月
定例会議及び実務セミナー	■実務セミナー 13:30~16:00 ■「経協トップ講演」 16:00~17:00 ■定例会議 17:00~17:30 ■交流会 17:30~19:00 共通部会(内容) 「学就連及び高校就職担当との意見・情報交換会」			■共通部会 ■実務セミナー 「雇用管理について」 ■定例会議 ■懇親会 会 員 1,000円 会 員 外 3,000円	■実務セミナー 「春闘セミナー」 ■定例会議 13:30~16:00 セミナー 16:00~16:30 定例会議 会 員 無 料 会 員 外 10,000円	
共通部会	◎学校側 ・大学、高校におけるキャリア教育と就職カリキュラム等の紹介 ・早期離職対策と内定者教育 ・学生が企業を選ぶ際に何を重視するのか、何を基準にするのか ◎企業 ・採用基準と計画、求人活動、人材確保対策等の紹介 ・若年者の意識変化と定着対策(7:5:3対策等) ◎意見・情報交換会及び交流会			共通部会(内容) 「各社の雇用管理全般について」の情報交換会 (団塊世代の退職と再雇用制度、人材確保対策、パートタイマー、契約社員、高齢者雇用、派遣労働者等々について)		
第1部会			①連合三重「労働組合の活動状況について」 ②三重県労働委員会「最近の労働問題について」 ③津地方裁判所「個別労働紛争について」 ④「各社の労使関係、労使協議制等について」の情報交換 ⑤その他			■三重労働局(監督課、安全衛生課、賃金室、労災補償課:各担当者より) 「最近の労働行政の諸問題について～企業が留意する点を探る～」 ■講演及び座談会 ■2部会合同打上げ懇親会
第2部会			①工場見学 ②講演「人材教育及び能力開発」(専門家) ③「各社の人材教育及び能力開発について」の情報交換 ④その他			①工場見学 ②講演「職場活性化について」(専門家) ③「各社の職場活性化策について」の意見・情報交換 ④その他 ■2部会合同打上げ懇親会

の委員でスタートします。

なお、新たに委員会活動に参加されたい方は、年度途中でも参加できますので、事務局の西場までご連絡下さい。

●当協会HPに、具体的な内容を掲載していますので、そちらもご覧下さい。

インターンシップ普及促進セミナー

8月28日(木)プラザ洞津「末広の間」において、インターンシップ普及促進セミナーを開催いたしました。企業・大学各担当者合わせて22名のご参加をいただきました。

当日は、講師に関西外国語大学の志賀 直人教授をお招きして、「今後のインターンシップのあり方を考える～企業側・学校側に求められるもの～」についてご講演をいただきました。

現場を踏まえたインターンシップの在り方、進め方、注意点また、実施上の必要書類の説明等、わかりやすく解説され、企業・大学の担当者からも好評の内に講演を終了いたしました。



講演する志賀教授

高齢者合同就職面接会開催

9月25日(木)団塊の世代などを対象にした「高齢者合同就職面接会」をハローワーク四日市と当協会（地域団塊世代就職支援事業）の主催で、四日市市文化会館で開催いたしました。

当日は、四日市市と三重郡の35社が面接ブースを開設し、245名の求職者が訪れました。当日の採用内定者は1名（女性）でしたが、再面接予定者や保留中の方が半数近くおり、今後の再就職に期待を寄せました。



高齢者合同就職面接会

第40回三重労使会議

去る、9月17日(水)津都ホテル会議室で開催、今回は40回の節目として野呂知事さんにお越し頂き、記念講演としまして、県が取り組んでいます「美（うま）し国・三重の常若（とこわか）」について話しを伺うことができ、当会議と県政の連携をより深めることができました。経協11名（会長、副会長、事務局）連合三重17名（会長、副会長、事務局）が出席

<開催内容>

両会長の挨拶から始まり、続いて連合三重千田会長より経協奥田会長へ連合三重2009年度の政策・制度要請として「雇用の確保と労働条件に関する要請書」の手渡ししがなされ、その後、通常の懇談会が下記の内容で行われました。



千田会長から要請書を受取る奥田会長

1. 三重地区労使懇談会報告
中勢地区の実施済み報告と北勢地区の開催（9/30）について
2. 「賃金不払い残業と過重労働による健康障害の根絶宣言」の取組みについて
3. 労使協働事業報告
(1) みえ雇用創出会議
平成21年2月4日(水)シンポジウムの開催について
(2) 三重県地域労使就職支援機構
(3) 労働問題研修会の実施済み報告
協働事業の詳細につきましては後記を参考にしてください
4. 労使双方による取組み紹介（各側1名）
5. 次回開催（幹事は三重経協）
平成21年2月4日(水)10:00～12:00
「2009年春季労使交渉について」 プラザ洞津

第40回記念講演 美し国・三重の常若

懇談会終了後、40回記念として野呂知事さんより県民しあわせプラン「美し国・三重の常若」の取り組みについて貴重な話しを伺うことができましたので、その要旨について記載をさせていただきます。



講演する野呂知事

講演の骨子は、三重の背景・現状と更なる展開、三重県のビジョン、県の主要な取組み、まとめて構成されており、背景として考えるべきこととして、グローバルな視点（県として何ができるか）・ナショナルな視点（国難、変革の時、目指す国の姿、地方からも発信）・ローカルな視点（県民が主役、県民とともに感性を磨く）と現状の把握、更なる展開（求められているもの）したたかな未来志向、文化力の向上、そして基本理念に基づき文化力で政策の質を変え新しい時代の公により仕事の進め方を変え、経営品質向上活動を通して意識を変え、公共サービス水準の維持、質の向上をすすめる、みえけん愛でもっと元気に、ワクワクできるようにすることです。と熱い思いを込めて語られた姿を拝見させて頂き、三重の将来に自信と誇りが持てる大きな安心感を見つけることができました。ぜひとも力をあわせ、太い絆での実現を願っています。



野呂知事を迎える集合写真

実務を中心の「人事・労務管理者養成講座」【第1講】開催

10月24日(金)津商工会議所5階大会議室において、『実務を中心の人事・労務管理者養成講座』（全5講座）第1講を開催いたしました。講座申込者21名中、第1講は、20名の参加でスタートしました。

当日は、社会保険労務士、の加藤三郎氏を講師にお招きしました。「人事労務担当者の基礎知識」について、人事・労務の第1戦で活躍されている経験から、各労働法の関連性、担当者の基本的な事務手続き等、実務に副った内容で、わかりやすく解説していただきました。その後、会場を移して交流会が行われました。

第1講 講座内容

- 1 事業を始めるとき
- 2 労働者を募集・採用するとき
- 3 就業規則
- 4 未成年者を雇うとき
- 5 女性労働者を雇うとき



熱心に先生の講義に聞き入る受講者達



講義に熱が入る加藤先生

地域雇用セミナー(支援機構)

「男女がともに活躍できる職場実現に向けて」開催

去る、7月10日(木)三重県地域労使就職支援機構、(財)21世紀職業財団三重事務所の共催と三重労働局、三重県の後援のもと、プラザ洞津にて開催。

参加者65名

就職ジャーナリスト岡本武史氏より「ポジティブ・アクションで生き活きた職場を創る」～職場活性化を目指す採用と育成のポイント～について実績と体験を踏まえた有意義な講演を伺い、事例発表では「わが社の取組みについて」(株)三重平安閣 専務取締役 川瀬正美氏から現実の取組みを通して成果を高められている事例を伺い、21世紀職業財団、山田さんからポジティブ・アクションの取組みについてマニュアルの詳しい説明があり、全体を通して系統だった有意義なセミナーでした。



主催者代表挨拶を行う横田専務理事

北勢地区労使懇談会を開催

5月の中勢地区に続いて、今回は北勢地区での地区労使懇談会を9月30日(火)四日市市労働福祉会館で開催されました。(参加者 経協：8名 連合三重：7名)

<懇談会の内容>

1. 地区労使懇談会趣旨説明 2. 労使の代表挨拶
3. 情報提供としまして、四日市労働基準監督署長 林 常夫氏より「北勢地域の雇用情勢」、北伊勢上野信用金庫理事長 柴田 寛氏より「ワーク・ライフバランスや男女共同参画について」実務に役立つ話しを伺い、その後、労使による意見交換が行われ、各側の状況もよく理解でき有意義な懇談会でした。

次回の開催地域につきましては南勢地区(松阪・飯南・多気・伊勢・志摩)を予定しておりますので、両事務局地協と調整を図り、事前にご案内をさせていただきます。



地区労使懇談会風景

経営シンポジウム中部2008開催

10月29日(水)キャッスルプラザ「鳳凰の間」において開催されました。当日は、東海3県より150名の参加者が訪れました。

今回の総合テーマは「チームワークの復活」～個人の力を引き出す組織力の強化～で、基調講演として同志社大学政策学部教授 太田 肇氏より、「これからのマネジメントと動機づけ」について大変有意義な講演をいただき、続いてパネルディスカッションでは、「個人の力を引き出す組織力の強化」について、コーディネーターに上記の太田教授を迎え、東海各3県を代表する企業のパネリスト3名による活発な討論が行われました。その後、特別講演では、野球評論家で活躍の谷澤健一氏による「プレッシャーに打ち勝つ方法」をテーマに、楽しい講演が行われ

ました。今回のパネルディスカッションでは、三重からのパネリストとして、三交不動産(株)総務部長坂井義行氏が参加されました。



パネリストとして発言する坂井総務部長

「でじたる」なオヤジ?



三交不動産株式会社

総務部長

坂井 義行氏

真っ白な原稿を前に、さて何を「書こう」と悩みつつも、前にしているのは真っ白な原稿用紙ではなく「ワード」というソフトのまだ題名もない「文書1」という画面が映ったパソコンです。「書こう」と言うよりは「打とう」かです。目線も下ではなく前、縦書きではなく横書き、枠も線も無いのに綺麗に並べてくれる。すでに原稿の依頼案内には、手書きにてFAXの案内もありますが、パソコンの場合、行数から文字数までご指定をいただき、完成品は「メールにて」とご指定いただいております。どうやら世の「オヤジ」はパソコンを使いこなし「ワード」にて文章が「打てる」のが常識のようです。でも、自筆の原稿を部下に「打たせている」「あなろぐ」な愛すべきオヤジもきっと存在することを信じます。

一昔、いやかなり前ですと、このような原稿の依頼を受けてしまった日には、子供に原稿用紙はあるかと聞き、縦書きの原稿用紙を目の前に、削りたての鉛筆を数本と消しゴムを並べ、かたわらに国語辞典や漢和辞典を置き、何か話のネタはと広辞苑やら現代用語の基礎…、新聞、週刊誌と書き始めるまでの準備の大変なこと。あ～だ、こ～だと書き始めてみると、度重なる消しゴムで線は消え、紙に穴があいてしまい「もうやだ」とクシャクシャになってゴミ箱へ、会心の作ができた～と思って翌朝読み返せば気に入らず、また一から書き直す。皆様はこの原稿の完成品をお読みいただくのですが、完成までの過程が今では、いざとなればインターネットで

材料を検索し、思いついた文章をどんどん「打って」行き、並べ変えたり削除・挿入したり、あげくに保存をしておいて翌朝読み返してみても打ち直せば、なんて余裕さです。

いつ頃からこのような姿になったのでしょうか。そんな昔ではないような気がします。

ワープロなるものが世の中で一般的になり、字を書くのが苦手で漢字知らずの私としましては重宝いたしました。レコードがあつという間にCDになり、ビデオを借りに行けばDVDしか無く、テレビは薄くなり、フィルムカメラがデジカメへ、手紙がメールへ。

確かにわたしも最初の頃はお礼や挨拶状とか、こんな文書をメールで送るの?とか送っていいの?と迷ったり、年賀状のあて先くらいは頑張ってお肉筆でと思った時期もありましたが、人間一度楽を覚えるともう戻すことは不可能です。漢字はみごとに忘れますけどね(^_ ^) ;。パソコンの一番便利なところは、仕事が暇なときもパソコンをながめてマウスを動かしていると何やら仕事をしているような…部下に「お忙しいところすみません」と言われると、こちらが「すみません」ですm(_ _)m。メールの便利なところは、女房と直接話さなくてもよいところかも。ちなみに私が一番よく使うメールのフレーズは「今晚ご飯いりません、すみません」です。

世の中が「でじたる」であっても、「すみません」の気持ちは「あなろぐ」で(^_-) ☆。

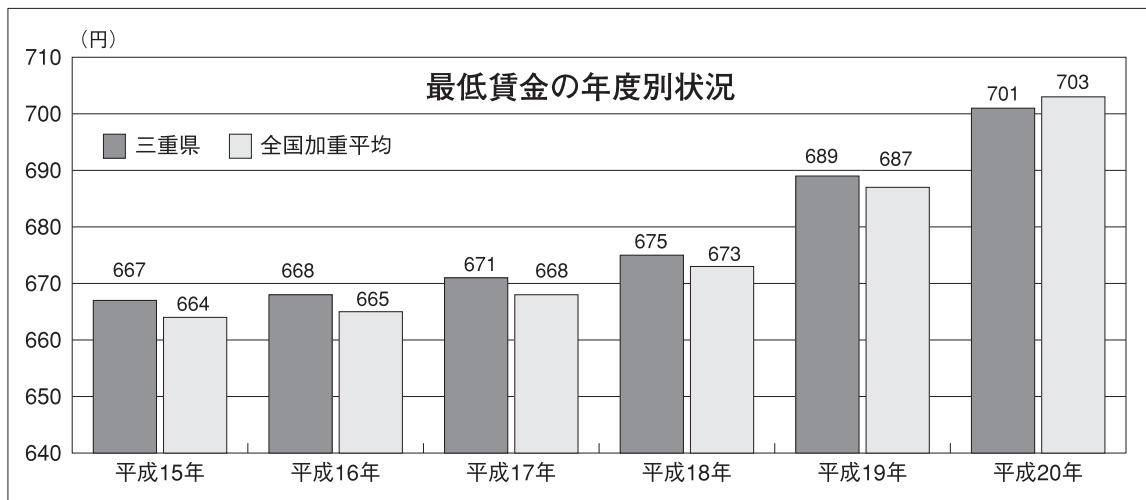
今後は、飲んで帰っても無理に晩ご飯を食べま～す…ん?反省なし?



三重県最低賃金の改正について

三重県最低賃金は、時間額701円に改正されました。（時間額689円から12円の引上げ）
この最低賃金は、平成20年10月26日から、三重県内で働くアルバイトやパート労働者等を含む全ての労働者に適用されています。

全国レベルで見ると最高額は東京と神奈川の766円、最低額は宮崎、鹿児島、沖縄の627円。
時間額7円（徳島）から30円（神奈川）の引き上げとなっています。（全国加重平均16円）
因みに、三重県は上位10位にランクインしています。
この機会に、事業所における賃金額を確認しましょう。



最低賃金についてのお問い合わせは、三重労働局労働基準部賃金室（電話059-226-2108）又は、最寄の労働基準監督署へお尋ねください。

三重労働局ホームページ（<http://www.mie.plb.go.jp>）もご参照ください。

事業主の皆様へ

年齢にとらわれない 人物本位、能力本位の募集・採用を！

◆労働者の募集・採用における「年齢制限禁止」の主なポイント◆

- 労働者の募集及び採用の際には、原則として年齢を不問としなければなりません。
- 例外的に年齢制限を行うことが認められる場合は、厚生労働省令で定められている事由（例外事由）に該当する必要があります。
- この年齢制限の禁止は、ハローワークを利用する場合ははじめ、民間の職業紹介事業者、求人広告などを通じて募集・採用する場合や、事業主が自社のホームページなどで直接募集・採用する場合を含め、広く「募集・採用」に適用されます。
- パート、アルバイト、派遣など雇用の形態を問わず、適用されます。
- 事業主が職務に適合する労働者であるかどうかを個々人の適正、能力などによって判断することが重要です。
- そのため、職務の内容、職務を遂行するために必要とされる労働者の適性、能力、経験、技能の程度など労働者が応募するに当たり求められる事項をできるだけ明示していただく必要があります。
- これにより、労働者側も、募集の内容を応募の前に把握することにより、応募するかどうかの判断が容易になり、求人と求職のミスマッチが解消されます。

※お問合せは、最寄のハローワークまで。

地域雇用セミナー

団塊世代の活用・雇用対策と 障害者雇用の推進に向けて

■日 時 平成20年12月12日(金) 13:30～16:30

■場 所 プラザ洞津 2階「未広の間」
TEL059-227-3291 (近鉄津新町駅下車、西へ徒歩3分)

■内 容 ■■基調講演

「30年前から始めたオールドパワーの積極的活用」

～高年齢者や障害者がいなかったら経営が成り立たない!!～

講師 市川 善彦氏

日本ガード・システム(株)代表取締役社長

日本中小企業大学 講師/福岡大学非常勤講師

■■パネルディスカッション

◆総合テーマ

「地域の創意と工夫を生かした雇用創出の実現に向けて」

～団塊世代対策と障害者の雇用促進について～

◆コーディネーター

野口 秀行氏(ノースアジア大学経済学部教授/野口秀行事務所代表)

◆パネリスト

- 市川 善彦氏(基調講演講師)
- 経済団体又は企業の代表
- 労働組合代表・行政代表(三重労働局)

主催：三重県地域労使就職支援機構

電話:0596-63-5755/FAX:0596-63-5666 ホームページ:<http://www.mie-shienkiko.jp/>

地域団塊世代雇用支援事業 (三重県経営者協会)

全国ネットの人材情報で、 出向・移籍をサポート!

企業間の出向・移籍のお手伝いを行っております。

ハローワークや関係団体などと連携して豊富な人材情報を提供しております。

お気軽に
ご相談ください

信頼と安心

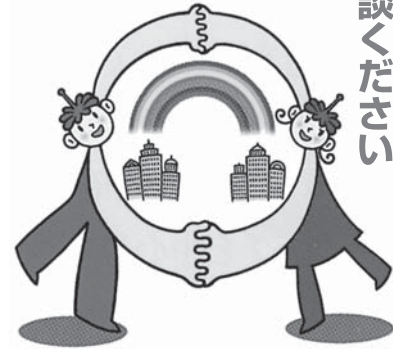
経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です。

全国ネット

全国47都道府県の事務所で取扱っております。

無料

情報の提供、相談、あっせん費用はかかりません。



出向・移籍の専門機関



財団法人 **産業雇用安定センター**
三重事務所 〒514-0009
津市羽所375 百五・明治安田ビル6F

●お問い合わせは

☎059-225-5449 (土・日・祝日休)

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

平成20年度

インターンシップの受入 事業所を募集しています

インターンシップは、学生が在学中に企業などで一定期間就業体験を行う教育制度です。地域の産業界の皆様のご協力があってはじめて実現できる制度ですので、積極的な参加をお願いいたします。

インターンシップ受入登録事業所を募集しております。未登録の会員事業所、またご紹介いただける事業所の方は、事務局 西場 (にしば) TEL: 059-228-3557・3679までご連絡をお願いいたします。

三重県下で約750事業所が現在登録されています。

*参加する学生は、事前研修を受け、インターンシップ保険等に加入した上で実習に参加します。(事業所側のご負担はありません)

受入事業所にとってのメリット

企業のPR効果

優秀な人材の発掘

職場の活性化

受入による職業観・
就労意識の形成・向上



新会員の紹介

●ワールド工業株式会社三重支店

所在地 伊賀市上野東日南町1704番地1
 代表者 支店長 高見 晃平
 電話 0595-21-9669 F A X 0595-21-5554
 事業内容 人材派遣業・有料職業紹介事業・業務請負業
 ホームページ <http://www.worldkogyo.co.jp/>



●有限会社磯笛

所在地 伊勢市通町507
 代表者 代表取締役 家城 武三郎
 電話 0596-23-6100 F A X 0596-23-3387
 事業内容 土産物製造・加工



●東海労務経営管理センター

所在地 松阪市郷津町163番地8 松田ビル2・3F
 代表者 松田 貴
 電話 0598-51-0353 F A X 0598-52-2376
 事業内容 社会保険
 労務士業(特定)、
 行政書士業、企
 業事務受託相談
 業務



●株式会社ケージーエス

所在地 桑名市大字東込上555番9
 代表者 代表取締役 小山 良夫
 電話 0594-21-3641 F A X 0594-21-8089
 事業内容 常駐警備・
 現金輸送警備
 消防設備及び
 対応業務・機
 械警備
 金融機関CD・
 ATM集中監
 視業務
 ホームページ
<http://www.kgsnet.com/>



●株式会社クラウン警備保障

所在地 松阪市久保町1855番地503
 代表者 代表取締役 丸山 臣彦
 電話 0598-29-1771 F A X 0598-29-3528
 事業内容 ホームセキュリティーサービス(一般家庭用)、
 機械警備(事業所・店舗用)、常駐施設警備・
 交通誘導警備・身辺警備・イベント雑踏警備、
 セキュリティー機器の販売
 ホームページ <http://www.clg.co.jp/>



●株式会社杵松

所在地 伊賀市西明寺新開2380-1
 代表者 代表取締役 松本 欣一
 電話 0595-23-1131 F A X 0595-24-1911
 事業内容 米菓製造直販(夢の色・せんべいの館)
 ゼリー製造販売(熟果ゼリーギフト、梅酒&
 フルーツギフト)
 ホームページ <http://www.kinesho.co.jp/>



団塊世代の再就職を支援します!!

厚生労働省委託事業

地域団塊世代雇用支援事業

再就職支援アドバイザーをご活用ください!!

■ 再就職アドバイザーによるサポート

① 就職活動支援書作成サポート

就職活動支援書の作成方法について、具体的に説明させていただき、作成のお手伝いをします。また、アドバイザーが事業主と離職予定者双方の希望をお伺いして作成することもできます。

② 再就職援助メニューの提供

再就職援助措置とはどのようなものかを体系的に説明させていただき、再就職支援メニューの提供をいたします。

③ 実施プランのコーディネート

先就職支援メニューの組み合わせによる事業主にあった実施プランを作成し、ご提案させていただきます。

④ 援助措置の実施サポート

ご提案させて頂いた実施プランに基づいて、実際に再就職援助措置を実施する事業主をサポートしていきます。

■ 対象高齢者の方に、キャリア・コンサルタントによる相談・助言が無料で受けられます。

※詳細については、川村、綿谷 (059-228-3557・3679) まで

れんらく・つうしん

インターンシップ事後研修会開催

- ◆ 日 程 平成20年11月29日(土)
- ◆ 開催場所 アスト津3F 県民交流センター 交流スペース
- ◆ 内 容 講演及びグループディスカッション

第11回三重経協会員親睦コンペ開催

- ◆ 日 程 平成20年12月11日(木)
- ◆ 開催場所 三重カンツリークラブ

労務管理改善協力委員会「県外視察会」

- ◆ 日 程 平成20年12月10日(水)
- ◆ 開催場所 京セラ(株)本社
- ◆ 内 容 京セラ(株)視察及び講演会

第4回「新春三重県『産・学』就職情報交流会」開催

- ◆ 日 程 平成21年2月6日(金)～7日(土)
- ◆ 開催場所 鳥羽シーサイドホテル

業務日誌 (2008～19)

事業名	とき	ところ	
中部三県専務理事会議	7/2(水)	愛知県経営者協会	経 協 関 係
第2回みえ雇用創出会議作業部会	7/9(水)	連合三重	
三重県地域労使就職支援機構「地域雇用セミナー」	7/10(木)	ブラザ洞津	
日本経団連「ブロック代表者会議」「理事会」「地方経協専務理事会」	7/15(火)	経団連会館	
派遣法・偽装請負をめぐる法律実務と企業の対応	7/17(木)	ブラザ洞津	
第17期労務管理改善協力委員会定例会議	8/4(月)	ブラザ洞津	
日本経団連「使用者委員全国連絡会議並びに第3回最低賃金対策専門委員会」	8/7(木)	経団連会館	
みえ雇用創出会議作業部会	8/19(火)	連合三重	
三重県地域労使就職支援機構「正副委員長会議」	8/20(水)	連合三重	
仕事と生活の調和推進会議「作業部会」	8/27(水)	ハローワーク津	
インターンシップ普及促進セミナー	8/28(木)	ブラザ洞津	
三重県地域労使就職支援機構「第2回運営委員会」	8/29(金)	三重県商工会議所連合会	
第2回仕事と生活の調和推進会議及び「作業部会」	9/4(木)	津第二地方合同庁舎	
中部三県専務理事会議	9/10(水)	愛知県経営者協会	
日本経団連「ブロック代表者会議」「理事会」「地方経協専務理事会」	9/16(火)	経団連会館	
第40回三重労使会議	9/17(水)	津都ホテル	
高齢者合同就職面接会(地域団塊世代雇用支援事業)	9/25(木)	四日市文化会館	
日本経団連「第11回中部社内報研究集会」	9/30(火)	名古屋国際会議場	
第9回三重県経営者協会海外経済・労働事情視察	10/5(日)～10(金)	アラブ首長国連邦・トルコ共和国	
平成20年度「仕事と生活の調和推進事業」の「第2回事業検証委員会」	10/15(水)	三重私学青少年会館	
理事・役員会及び特別講演会	10/22(水)	ブラザ洞津	
実務を中心の「人事・労務管理者養成講座」(第1講)	10/24(金)	津商工会議所	
第19回東京・大阪間沿線経済団体リニア中央エクスプレス早期建設促進大会	10/27(月)	亀山市文化会館	
連合三重「第20回定期大会」	10/28(火)	三重県勤労者福祉会館	
第102回日本経団連「労働法フォーラム大阪大会」	10/30(木)	シェラトン都ホテル大阪	



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557 FAX 059-228-3710

ホームページ <http://miekeikyoo.jp>

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F E-mail

info@miekeikyoo.jp

平成20年11月25日 発行
発行人/三重県経営者協会